

グランドデザイン

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-05-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00061905

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。

目指す 生徒像

自ら考え学び創造する生徒 お互いに認め合い、助け合う生徒 心身ともにたくましい生徒

- ・ ESD や伝統文化教育を基盤にしなが、各教科等の連携による STEAM 教育に関する実践研究を行う。
- ・ 生徒会活動・学級活動等の場面で生徒の自主的・主体的な取り組みを引き出す。
- ・ 学校教育学類、教職実践研究科との連携を推進しつつ、より一層充実した研究協力体制を目指す。
- ・ 校内の安全管理を徹底し、生徒が安心して活動できる環境づくりをより強化する。

豊かな人間性

自分を律しつつ、思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築いて共に生きて行こうとする態度で、将来に向け自己実現を図っていく生徒。

- ・ すべての教科等が連携して行う道徳教育の充実
- ・ 生徒会活動・学級活動・学校行事など生徒が主体となって行う活動
- ・ 地域や国内外の学校との交流

健康・体力

自他の安全に配慮し、心身の健康に対し主体的に関わる生徒。

- ・ 教育活動全体で行う安心・安全な環境の整備
- ・ 家庭や地域と連携した健康教育の推進
- ・ 教育相談の充実

資質・能力の育成

確かな学力

目指す子供の姿

グローバルな視点を持ち予測困難な時代を他者と協働して問題を解決する姿。

●何ができるようになるか

○育成を目指す資質・能力

- 社会的使命を果たすことができる力
- 学んだことを社会生活のなかで活かすことができる力
- すべての学習の基盤となる汎用的な能力
- 現代的な諸問題に対処できる力

○Society5.0を主体的に生きるための資質・能力を育成

●何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 生徒自身が自らの学びを振り返る。
- 教育課程や学習・指導方法の評価と改善を行う。
- 多様な学習活動を対象とした、多面的・多角的な評価を行う。

子供の実態

学習全般に関する学習意欲は高いが、学んだことを他者と共有したり、新しい考え方を生み出す力が不足している。

●何を学ぶか

○教育課程の編成

- 各教科等の枠組みを踏まえた学習内容を学ぶ。
- STEAM 教育を題材として、各教科等を横断して学ぶことのできる教育課程を編成する。

●どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 3年間で身に付ける資質・能力を明確にして学ぶ。
- 単元や題材を見通した学びの工夫をする。
- STEAM 教育を通し社会とつながる課題を設定する。

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 全職員の協働的な関与と支援
- 附属特別支援学校や金沢大学教員の協力
- 附属学校園との情報共有や連携
- 外部の専門機関との連携

実施するために何が必要か

- ・ 校内研究会の充実
- ・ 国立教育政策研究所をはじめとした研究機関等との協力
- ・ 金沢大学との研究協力
- ・ 地域や家庭、海外提携校との連携・協働

安心・安全を守る

- ・ いじめ防止基本方針の策定
- ・ 避難訓練などの実施と工夫改善
- ・ 計画的な安全計画
- ・ 各種講習会などにおける外部団体の協力
- ・ 保護者や外部の人材を活用した安全対策の充実

開かれた学校づくり

- ・ 各種行事やキャンペーンを通じた、地域・家庭との連携
- ・ 学校教育学類、教職大学院との協働
- ・ 学校公開、学校説明会の充実
- ・ 学校評議会
- ・ 金沢大学（附属学校園運営委員会や学類教員など）との連携
- ・ 研究成果の国内諸学校、教員への提供